

## 2021年度通常総会について

2021年度通常総会は2021年4月27日にWeb会議（新型コロナウイルス感染防止のため）により開催され、以下の議案がすべて原案通り承認されましたので、お知らせします。

第1号議案：「2020年度事業報告」の件

第2号議案：「2020年度決算報告および監査報告」の件

第3号議案：「2021-2022年度新役員承認」の件

報告1：2021年度事業計画

報告2：2021年度収支予算

(第1号議案)

### 2020年度事業報告書

事業番号： 公1（1本のみ）

事業の内容： オペレーションズ・リサーチの研究・普及啓発を行う事業

#### 【研究発表会・シンポジウム等の開催】

##### □事業の趣旨・内容

本事業は、研究発表会・シンポジウム等を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

#### 1. 研究発表会

- (1) 春季研究発表会：新型コロナウイルス感染防止のため開催直前に中止  
3月12日、13日、奈良春日野国際フォーラムにて開催予定  
実行委員長：笠原正治（奈良先端科学技術大学院大学）  
発表件数165件：アブストラクト集発行  
・特別テーマ「万葉とOR」  
・特別講演（一般公開）
  - 1) 「『紀伊山地の霊場と参詣道』世界遺産登録への道」  
田中利典（吉野 金峯山寺長脇）
  - 2) 「地域活性イベント創出の現場から」  
中野聖子（ホテルサンルート奈良 代表取締役社長）
- (2) 秋季研究発表会：新型コロナウイルス感染防止のため5月に全面中止を決定  
8月27日、28日、北海道情報大学において開催予定  
実行委員長：加地太一（小樽商科大学）  
発表件数0件：発表論文募集を中止、アブストラクト集未発行  
・特別テーマ「スポーツとOR」  
・特別講演（一般公開）：計画を中止

#### 2. シンポジウム

- (1) 春季シンポジウム：新型コロナウイルス感染防止のため開催直前に中止  
3月11日、奈良春日野国際フォーラムにて開催予定  
実行委員長：山下信雄（京都大学）  
テーマ「データサイエンス教育の潮流」

講演5件：予稿集発行

- (2) 秋季シンポジウム：新型コロナウイルス感染防止のため5月に全面中止を決定  
8月26日、北海道情報大学において開催予定  
実行委員長：西川孝二（北海道科学大学）  
テーマ「人工知能とOR」  
講演4件

### 3. ORセミナー

新型コロナウイルス感染防止のため、年度当初、年間4回の計画が1回しか開催できなかった。

- (1) 第1回「ExcelソルバーではじめるOR」
- ・11月29日、Zoomによるオンライン開催
  - ・コーディネーター：永井秀稔（日鉄ソリューションズ（株））
  - ・司会：後藤順哉（中央大学）
  - ・講師：後藤順哉（中央大学）、堀田敬介（文教大学）
  - ・参加者64名
- (2) 第2回「地理情報システム入門」：再度の緊急事態宣言のため12月に中止決定
- ・1月23日、東京ガス本社ビル2階大会議室にて開催予定
  - ・コーディネーター・司会：本間裕大（東京大学）
  - ・講師：貞広幸雄（東京大学）、渡部大輔（東京海洋大学）、長谷川大輔（東京大学）、本間裕大（東京大学）

### 4. 企業事例交流会

- (1) 春季企業事例交流会（第45回）：春季研究発表会の中止に伴い中止  
(2) 秋季企業事例交流会（第46回）：秋季研究発表会の中止に伴い中止

## 【機関誌、論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動】

### □事業の趣旨・内容

本事業は、機関誌・論文誌の刊行およびインターネット等を利用した情報提供活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

### 1. 機関誌

機関誌「オペレーションズ・リサーチ」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
2020年3月1日	65	3	2,300部
2020年4月1日	65	4	2,300部
2020年5月1日	65	5	2,300部
2020年6月1日	65	6	2,200部
2020年7月1日	65	7	2,200部
2020年8月1日	65	8	2,150部
2020年9月1日	65	9	2,100部
2020年10月1日	65	10	2,100部
2020年11月1日	65	11	2,100部
2020年12月1日	65	12	2,100部
2021年1月1日	66	1	2,300部
2021年2月1日	66	2	2,100部

## 2. 論文誌

論文誌（Journal of the Operations Research Society of Japan: JORSJ），和文論文誌（Transactions of the Operations Research Society of Japan: TORSJ）を下記のとおり発行した。

発行年月	巻	号	発行部数
2020年4月	63	2	65部
2020年7月	63	3	70部
2020年10月	63	4	70部
2020年12月（TORSJ）	63		40部
2021年1月	64	1	65部

なお，論文誌はインターネット上で無料公開しており，発行部数は紙媒体での部数のみを示している。

### 【研究部会による調査研究とその公表活動】

#### □事業の趣旨・内容

本事業は，研究部会による調査研究とその公表活動を通じて，オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し，オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて，文化と産業の発展に寄与することを目的とする。調査研究にあたっては，専門の研究部会を組成し，主査・幹事が中心となり研究希望者を公募して行っている。

A	常設部会	主査，幹事	メンバー	開催 (うち合同)	内 容	場所
1	待ち行列	河西憲一 (群馬大学) 木村達明 (大阪大学)	30名	8回 (1回)	計8回の部会を開催し，発表内容は，待ち行列，情報通信ネットワーク，生産システムなど多岐に渡っている。このうち1回は4部会・グループ（「動的決定モデルとその応用」，「信頼性とその応用」，「待ち行列」，「量子コンピュータと次世代計算機活用」）の合同で実施された。また，2021年1月25-27日に「2020年度待ち行列シンポジウム」を開催した。	オンライン (Zoom) 開催
2	数理計画 (RAMP)	吉瀬章子 (筑波大学) 高野祐一 (筑波大学)	33名	1回	10月26, 27日にオンラインでシンポジウムを開催した。テーマは「離散最適化の最先端」，「離散構造とアルゴリズム」，「実践的最適化手法とその応用」，「連続最適化の最近の進歩：理論・アルゴリズム・応用」，「学習と最適化の融合」である。この他に，2件の特別講演を設け，海外からの講演者を招いた。このように，国内外の様々な分野の第一線でご活躍の先生方にご講演いただいた。	オンライン
3	評価のOR	後藤美香 (東京工業大学) 伊豆永洋一 (神奈川大学)	10名	3回 (1回)	定例研究会では毎回2名の講演者を招き，DEAやその他評価に関連した分析手法やその応用研究について講演を行った。本年度全3回のうち1回は「動的決定モデルとその応用」研究部会との共催で研究会を実施した。延参加者57名。	オンライン 開催

4	意思決定法	水野隆文 (名城大学) 飯田洋市 (公立諏訪東京理 科大学)	0名	0回		
5	サプライ チェーン戦略	加納政志 (株式会社日立製 作所) 草刈君子 (ソフトウェアエ ンジニアリング株 式会社)	24名	1回	サプライチェーンにおける経営戦略、 運用戦略、戦略プロセスに対しOR手法 の現実適用について事例と理論の両面 から研究する。参加者24名(平均24 名)である。活動内容はscsr.jpにて一 般公開している。	オンライン (Zoom)

B	研究部会	主査、幹事	メンバー	開催 (うち合同)	内 容	場 所
1	最適化と その応用	高松瑞代 (中央大学) 田中未来 (統計数理研究所)	10名	3回	定例研究会を3回開催し、7件の講演に 延べ274名が参加した。なお、当初はも う1回の定例研究会および未来を担う若 手研究者の集いと題した学生を中心と する研究会を開催する予定だったが、 新型コロナウイルス感染症拡大の状況 を鑑みて中止した。	オンライン会 議システム Zoom
2	不確実状況下 における意思 決定とその周 辺	小出 武 (甲南大学) 井上真二 (関西大学)	15名	2回	不確実・不確定な現代社会を対象とし たマーケティング、金融工学、最適化、 データ工学、機械学習、人工知能など の関連研究分野に関する研究講演を中 心とした情報交換を行った。延参加者 46名。	オンライン
3	危機管理と社 会とOR	諸星穂積 (政策研究大学院 大学) 鶴岡孝盛 (防衛大学校) 佐久間 大 (防衛大学校)	9名	5回	危機管理と社会システムを文理融合的 に議論する場を設け、ORの理論と応用 に関する話題を、毎回様々な分野 から講師を招いて講演いただき、学際 的な見地からの研究交流を行った。	政策研究大学 院大学
4	ヘルスケアの OR	高木英明 (筑波大学) 小笠原 悠 (東京都立大学) 阪口昌彦 (大阪電気通信大学)	72名	1回	OR研究者とヘルスケア分野の現場研究 者の交流と、病院経営、医療の実測 データに基づく理論、アルゴリズム、数 理モデル等の研究を推進し、我が国の 課題に応えるORの新たな応用分野の開 拓と普及を図る。	Zoomによる オンライン開催
5	インフラの OR的展望	高嶋隆太 (東京理科大学) 鳥海重喜 (中央大学)	24名	6回	OR的手法を用いることにより、インフ ラに係わる諸問題を解決することを目 的とし、主に、エネルギー・環境インフ ラの進展、輸送インフラの地政学と安 全保障、インフラの文明と進化の構造化 に関する研究を遂行した。	オンライン

6	超スマート社会のシステムデザインのための理論と応用	牧野和久 (京都大学) 山口勇太郎 (大阪大学) 森本 陽 (三菱重工業(株))	3名	4回 (1回)	超スマート社会実現のために必要なオペレーションズ・リサーチ関連分野の理論と応用を発展させる研究会を開催した。うち1回は3日間の夏学校を共催し、延参加者は約340名。	Zoomによる オンライン開催
7	動的決定モデルとその応用	來島愛子 (上智大学) 吉良知文 (群馬大学)	13名	5回 (2回)	今年度は合同開催も含め5回の研究会を開催しました。最適停止問題、マルコフ決定過程／ゲームのファイナンスへの応用、確率モデルの医療への応用などのトピックについて研究会を開催し、交流も一層深まりました。	オンライン (Zoom)
8	信頼性とその応用	岡村寛之 (広島大学) 鄭 俊俊 (立命館大学)	26名	5回 (合同1回, 国際会議 共催1回)	信頼性及び保全性に関する理論の発展と応用分野の拡大を目指し、合同開催および国際会議共催を含む5回の研究会を開催した。メンバーの協力で情報関係など様々な分野の研究者と交流することができ、信頼性の応用を広げることができた。	Zoomによる オンライン
9	エネルギーシステムの進化とOR	所 健一 (一般財団法人電力中央研究所) 宇田川佑介 (構造計画研究所)	47名	5回	本研究部会では、少子高齢化による需要減への対応、脱炭素化へ向けた再生可能エネルギーの活用など、望ましいエネルギーシステムの進化を支えるOR手法の適用方法と、必要となる新たな方法論について検討する。	オンライン開催
10	データドリブンマーケティング	横山 暁 (青山学院大学) 朝日弓未 (東京理科大学) 大竹恒平 (東海大学)	13名	5回	本年度はオリコン株式会社から提供いただいた大規模アンケート調査データを利用した「データ解析コンペティション」を開催した。17チームのエントリー、延べ約100人の参加者があり、11月末～12月初旬に中間発表会3回、2月末に最終発表会2回をオンライン(Zoom)にて開催した。 様々な商品・サービスのアンケートデータに対し、各チームが課題をもってデータ集計・分析に取り組み、発表会を通して成果を報告するとともに、議論を行った。	オンライン開催

C	研究グループ	主査、幹事	メンバー	開催 (うち合同)	内 容	場 所
1	地域課題解決のOR	鈴木 勉 (筑波大学) 石井儀光 (国土技術政策総合研究所)	50名	3回	OR手法を通して都市や地域の現象に関する諸問題に取り組んでいる研究者や学生を対象とする発表や議論の場として、セミナー・ワークショップを3回開催した。延発表数80件、延参加者数174名であった。	筑波大学 (Web開催)

2	量子コンピュータと次世代計算機活用	大輪拓也 (九州工業大学) 矢実貴志 (株式会社NTTデータ)	8名	4回 (1回)	量子コンピュータやイジングマシンなどを含む次世代計算機を用いて、最適化をはじめとしたORの問題や実社会における具体的な課題に対する活用方法を検討するために、計4回の研究集会を開催した。延参加者132名。	すべて オンライン 開催
---	-------------------	--	----	------------	---	--------------------

## 【表彰活動】

### □事業の趣旨・内容

本事業は、表彰活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

### 1. 春季表彰

- (1) 第21回業績賞
  - ・鈴木敦夫（南山大学）
- (2) 第45回普及賞
  - ・田辺隆人（株式会社NTTデータ数理システム）
  - ・生田目崇（中央大学）
- (3) 第44回実施賞
  - ・筑波大学未来社会工学研究開発センター

### 2. 秋季表彰

- (1) 第10回研究賞
  - ・岡本吉央（電気通信大学）
- (2) 第10回研究賞奨励賞
  - ・東川雄哉（兵庫県立大学）
  - ・鮎川矩義（東京理科大学）
  - ・井上文彰（大阪大学）
  - ・宮内敦史（東京大学）
- (3) 第10回論文賞
  - ・霧生拓也（三菱UFJトラスト投資工学研究所）、枇々木規雄（慶應義塾大学）
- (4) 第38回学生論文賞
  - ・東 吾大（修論 東京工業大学）
  - ・田辺広樹（修論 京都大学）
  - ・池田基樹（修論 東京大学）
  - ・増村雄哉（修論 大阪大学）
  - ・大内克久（修論 京都大学）
  - ・ZHONG DAI（修論 筑波大学）

## 【海外研究助成事業】

### □事業の趣旨・内容

本事業は、若手オペレーションズ・リサーチ研究者に対する海外研究助成により、海外の研究機関とのオペレーションズ・リサーチの研究および応用に関する連携を一段と進化および拡大させ、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

2020年度は、次の1名を選考したが、新型コロナウイルス感染拡大のため、派遣は保留となった。

(1) 伊藤 勝 (日本大学)

派遣期間：8月16日～9月16日

派遣先：米国 Department of Industrial and Systems Engineering, University of Minnesota

Zhaosong Lu 教授

## 【支部活動】

### 1. 北海道支部

活動	年月日	場所	内 容
総会	2020/2/21	小樽商科大学 サテライト 中講義室	2019年度事業報告, 決算, 2020年度事業計画, 予算, 役員
講演会 1	2021/2/9	オンライン (Zoom)	講師：土田安紘 (AWL株式会社) 講演題目：I映像解析技術を応用した観光地三密対策の取り組みについて 参加者：14名

### 2. 東北支部

活動	年月日	場所	内 容
総会	2020/6/6	オンライン	2019年度事業報告, 2019年度決算, 2020年度事業計画についてなど
会議	2020/11/26	オンライン	東北支部運営委員会
セミナー	2020/11/29	オンライン および 福島大学	東北ORセミナー若手研究交流会 東北地方を中心とした若手研究者の育成と学生会員数の増加を図るための研究発表会。主として学生に研究発表と人的交流の場を提供し、個々の大学や研究室を超えた地域全体での若手研究者育成、および研究者同士の共同研究も視野に入れて東北地方の包括的な研究活性化を目的としている。今年度は、2020年11月29日(日)にオンラインおよび福島大学で開催した。22名(うち学生13名)の参加者を集めて、盛況のうちに無事終了することができた。詳細は下記サイト参照。 <a href="http://www.akita-pu.ac.jp/system/mse/mis/inakawa/public/tors/seminar2020/">http://www.akita-pu.ac.jp/system/mse/mis/inakawa/public/tors/seminar2020/</a>

### 3. 中部支部

活動	年月日	場所	内 容
総会	2020/2/29	メール審議	2019年度事業報告・決算報告, 2020年度事業計画・予算・役員選出・審議・承認
SSOR中部支部2020 中部支部研究 発表会	2020/8/22	オンライン開催	中部支部研究発表会は2/29に予定されていたがコロナ禍の影響で中止となったため、SSORと合同で8月に開催した。 発表17件, 事前登録者55名(瞬間参加者37名)
特別講演	2020/8/22	オンライン開催	「配送計画問題に対する局所探索法とその応用」橋本英樹(東京海洋大学) 事前登録者55名(瞬間参加者37名)
2020年度OR 学会中部支部 シンポジウム	2020/12/12	オンライン開催	テーマ「スケジューリングの理論・実務とOR」 「サプライチェーン最適化における数理技術の実践」中尾芳隆(キヤノンITソリューションズ株式会社) 「辞書式二目的最適化問題の定式化例とアルゴリズム」軽野義行(京都工芸繊維大学) 「解の多様性を考える」池上敦子(成蹊大学) 事前登録者70名(最大瞬間参加者55名)

#### 4. 関西支部

活動	年月日	場所	内 容
支部総会	2020/3/24-4/3 (メール投票期間)		対面形式で予定をしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、メールにて審議・報告を行った。2019年度事業報告・決算および2020年度事業計画・予算などが承認された。 有効投票数：57通。
支部SSOR (※未開催)	2020/10/03-10/04		新型コロナウイルス感染症の影響で、合宿形式での開催が難しいことから中止された。
支部シンポジウム	2020/11/14	中央電気倶楽部	実行委員長：牧野和久（京都大学） 参加者：会場での参加者17名、オンライン配信視聴者52名 1. 福永拓郎（中央大学）「不確実性下での適応的最適化」 2. 前原貴憲（理化学研究所）「東上の劣モジュラ関数最大化」 3. 河瀬康志（東京大学）「オンラインナップサック問題に対するアルゴリズム」 4. 後藤順哉（中央大学）「分布的ロバスト最適化モデリング—解釈と実用への示唆」 5. 黒木裕介（ヤマトホールディングス株式会社）「ヤマト運輸プログラミングコンテスト2019を振り返って」
支部運営委員会	第1回： 2020/12/04, 第2回： 2021/02/19	Zoomにて開催	第1回：出席者18名，委任状提出16名 計34名 第2回：出席者26名，委任状提出8名 計34名

#### 5. 中国・四国支部

活動	年月日	場所	内 容
支部総会	2020/3/24-30	メール会議	令和元年度支部活動・決算の報告 令和2年度支部役員・活動計画・予算の承認
SSOR	2020/11/21-22	オンライン (Zoom)	中国・四国支部では、若手研究者の育成のために様々な取り組みを行っている中、その活動の一環として、若手の研究発表を中心とした研究発表会を開催した。初日に懇親会を設けることで、多くの意見交換が為されるとともに、親睦を深めることができた。(参加者：30名(内 学生18名))
支部シンポジウム	2020/12/26	オンライン (Zoom)	本シンポジウムでは、現場の第一線でご活躍されている講師4名を招待した。社会に役立つ様々な応用を前提とした確率モデルの実例をご紹介いただき、実現象をどのようにモデル化したのかについてわかりやすく解説していただいた。(参加者：12名)
支部研究部会	2021/2/16	鳥取大学	部会名「プロジェクトマネジメントと確率モデル」 主催講演会：1件（講師2名）
支部研究部会	2020/12/12	オンライン (Zoom)	部会名「SCM&サービス工学」 主催講演会：1件（講師2名）
支部研究部会	2020/12/8	オンライン (Zoomまたは TEAMS)	部会名「ORと数学」
	2021/2/12		共催研究会：3件（講師4名）
	2021/2/17		
講演会	2020/12/19	オンライン (Zoom)	講師：阪口龍彦（近畿大学工学部情報学科准教授） 講師：廣瀬英雄（久留米大学バイオ統計センター客員教授，中央大学研究開発機構教授）



## 6. 九州支部

活動	年月日	場所	内 容
総会	2020/3/21	メール審議	2019年度活動報告, 2020年度活動計画 参加者人数: 22名
支部事業 SSOR	2020/11/28	ハイブリット式: ・博多会場 ・北九州ブース ・名古屋ブース ・オンライン	ハイブリット式の九州地区における若手研究者中心の交流会 発表件数: 16件 参加者人数: 31名 表彰: 4件 【最優秀発表賞 (大学院生の部)】 木谷裕紀 (名古屋大学) 【最優秀発表賞 (学部生の部)】 塩田拓海 (九州工業大学) 【優秀発表賞 (大学院生の部)】 Thitiwat Ruangsakorn (福岡工業大学) 【優秀発表賞 (学部生の部)】 大塚あいみ (北九州市立大学)
講演会	2020/11/28	ハイブリット式: ・博多会場 ・北九州ブース ・名古屋ブース ・オンライン	講師: 横田将生 (福岡工業大学) 題目: 「自然言語を介する人間とロボットによる協調的問題発見と解決に向けて」 参加者人数: 33名
講演会	2020/12/12	ハイブリット式: ・福岡工業大学 ・オンライン	講師: 藤本晶子 (九州工業大学大学院情報工学研究院知能情報工学研究系) 題目: 「データサイエンスとして視る宇宙天気」 参加者人数: 17名
研究会	2020/12/12	ハイブリット式: ・福岡工業大学 ・オンライン	講師: 君野理絵 (長崎大学大学院経済学研究科) 題目: 「中等商業教育における非認知能力育成のDEAによる効率測定」 講師: 新井友梨 (長崎大学大学院経済学研究科) 題目: 「DEAによる舞台芸術に携わる非営利事業体の効率性分析」 参加者人数: 17名

### 【会議】

#### 1. 通常総会

2020年4月25日 (Zoomによりオンライン開催)

- |                          |    |
|--------------------------|----|
| 1. 2019年度事業報告の件          | 承認 |
| 2. 2019年度収支計算報告および監査報告の件 | 〃  |
| 3. 2020-2021年度役員承認の件     | 〃  |

#### 2. 理事会 (略)

##### 【役員】

理事 (非常勤)

定数: 12人から18人 (現在: 17人)

任期: 2年

監事 (非常勤)

定数: 2人 (現在: 2人)

任期: 2年

##### 【職員】 (略)

## 【会員状況】

### 1. 2020年度通算（2020/3/1～2021/2/28）

	名誉会員	正会員		学生会員		賛助会員		合計
		一般	シニア・特別	有料	無料	A種	B種	
2020.3.1	13	1428	71	7	237	37 (46)	19 (19)	1812
入会		31	1	3	59	2 (2)		96
退会	▲1	▲41	▲14	▲1	▲104	▲2 (2)	▲3 (3)	▲166
資格喪失		▲26						▲26
移動	学→正	24			▲24			0
	正→学	▲2			2			0
	正→シ	▲9	9					0
	シ→正							0
	正→名	1	▲1					0
今期間増減	0	▲24	▲4	2	▲67	0 (0)	▲3 (3)	▲96
2021.2.28現在	13	1404	67	9	170	37 (46)	16 (16)	1716

( ) 内は口数

### 2. 支部別会員数

支部	名誉会員	正会員		学生会員		賛助会員		合計
		一般	シニア・特別	有料	無料	A種	B種	
北海道		41	2		2			45
東北		44	2	1	5			52
中部		112	11	1	18		1	143
関西	2	185	10	1	15	5		218
中国・四国		64	4		3	1		72
九州		65	4	1	12			82
本部	11	893	34	5	115	31	15	1104
2021.2.28現在	13	1404	67	9	170	37 (46)	16 (16)	1716

( ) 内は口数

## 貸借対照表

令和3年2月28日現在

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金	28,342,078	33,372,126	△ 5,030,048
未収会費	2,312,600	1,549,400	763,200
未収金	727,255	863,984	△ 136,729
前払金	261,360	261,360	0
前払費用	102,930	82,601	20,329
仮払金	0	500,000	△ 500,000
預け金	1,045,528	0	1,045,528
流動資産合計	32,791,751	36,629,471	△ 3,837,720
<b>2. 固定資産</b>			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	1,168,580	1,001,085	167,495
名簿作成準備積立金資産	500,000	500,000	0
国際協力積立金資産	15,000,000	15,000,000	0
表彰事業積立金資産	4,500,000	4,800,000	△ 300,000
〇A化積立金資産	8,380,000	8,380,000	0
〇R事典積立金資産	4,000,000	4,000,000	0
近藤賞基金引当資産	8,000,000	8,000,000	0
公益事業充当資産	20,000,000	20,000,000	0
若手〇R研究者育成基金	7,500,000	9,100,210	△ 1,600,210
助成事業積立資産	5,000,000	5,000,000	0
リース資産	1,074,497	729,567	344,930
特定資産合計	75,123,077	76,510,862	△ 1,387,785
(2) その他固定資産			
保証金	950,400	950,400	0
その他固定資産合計	950,400	950,400	0
固定資産合計	76,073,477	77,461,262	△ 1,387,785
資産合計	108,865,228	114,090,733	△ 5,225,505
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	43,200	40,684	2,516
未払費用	279,876	497,351	△ 217,475
前受金	1,814,454	2,706,712	△ 892,258
前受会費	16,706,800	19,116,940	△ 2,410,140
預り金	138,637	231,001	△ 92,364
仮受金	500,000	0	500,000
未払消費税等	272,600	297,800	△ 25,200
流動負債合計	19,755,567	22,890,488	△ 3,134,921
<b>2. 固定負債</b>			
退職給付引当金	1,168,580	1,001,085	167,495
リース債務	1,760,480	1,233,576	526,904
固定負債合計	2,929,060	2,234,661	694,399
負債合計	22,684,627	25,125,149	△ 2,440,522
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
寄付金	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
<b>2. 一般正味財産</b>			
(うち特定資産への充当額)	(68,954,497)	(70,509,777)	(△ 1,555,280)
正味財産合計	86,180,601	88,965,584	△ 2,784,983
負債及び正味財産合計	108,865,228	114,090,733	△ 5,225,505

正味財産増減計算書

令和 2年 3月 1日から令和 3年 2月28日まで

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	6,188	5,974	214
受取利息	6,188	5,974	214
受取入会金	59,700	107,100	△ 47,400
受取正会員入会金収入	28,500	40,500	△ 12,000
受取学生会員入会金収入	31,200	66,600	△ 35,400
受取会費	26,083,600	28,071,200	△ 1,987,600
正会員受取会費収入	20,757,600	22,557,600	△ 1,800,000
学生会員受取会費収入	45,000	40,600	4,400
賛助会員受取会費収入	5,281,000	5,473,000	△ 192,000
事業収益	9,726,048	15,461,169	△ 5,735,121
受取販売収益	2,530,132	2,343,799	186,333
受取研究発表参加収入	1,198,000	3,490,000	△ 2,292,000
受取参加料	498,350	3,651,000	△ 3,152,650
受取広告料	4,305,892	4,784,800	△ 478,908
受取受託料	1,000,000	1,000,000	0
受取掲載料	23,000	0	23,000
受取著作権料	170,674	191,570	△ 20,896
受取補助金等	0	250,000	△ 250,000
受取寄付金	3,063,440	0	3,063,440
受取寄付金	3,063,440	0	3,063,440
雑収益	9,441	70,134	△ 60,693
受取利息	190	233	△ 43
雑収益	9,251	69,901	△ 60,650
経常収益計	38,948,417	43,965,577	△ 5,017,160
(2) 経常費用			
事業費	37,274,565	46,431,010	△ 9,156,445
給与手当	7,172,650	7,275,766	△ 103,116
賞与	2,107,962	2,054,724	53,238
臨時雇賃金	0	928,830	△ 928,830
退職金	42,750	0	42,750
法定福利費	758,800	706,177	52,623
福利厚生費	26,661	26,142	519
旅費交通費	163,269	2,703,639	△ 2,540,370
通信運搬費	3,476,496	3,510,782	△ 34,286
退職給付費用	449,996	540,432	△ 90,436
消耗品費	2,528,237	1,937,455	590,782
会議費	608,311	4,962,425	△ 4,354,114
印刷製本費	7,986,667	8,310,513	△ 323,846
賃借料	3,204,108	3,193,517	10,591
保険料	14,776	5,899	8,877
租税公課	272,600	297,800	△ 25,200
諸謝金	4,232,661	6,668,365	△ 2,435,704
委託費	1,630,750	1,558,898	71,852
支払手数料	2,232,858	1,344,278	888,580
減価償却費	161,097	188,912	△ 27,815
貸倒損失	190,640	190,080	560
雑費	13,276	26,376	△ 13,100
管理費	4,061,761	4,866,588	△ 804,827
給与手当	796,958	808,415	△ 11,457
賞与	234,218	228,302	5,916
臨時雇賃金	0	16,770	△ 16,770
退職金	4,750	0	4,750
法定福利費	84,306	78,461	5,845
福利厚生費	2,960	2,903	57
旅費交通費	371,363	868,503	△ 497,140
通信運搬費	38,794	60,735	△ 21,941
退職給付費用	49,999	60,048	△ 10,049
消耗品費	90,078	22,770	67,308
会議費	1,257	477,303	△ 476,046
印刷製本費	0	90,116	△ 90,116
賃借料	356,004	345,713	10,291
保険料	1,641	656	985
租税公課	33,200	45,500	△ 12,300
水道光熱費	268,557	237,272	31,285
委託費	1,100	75,093	△ 73,993
支払手数料	97,511	52,167	45,344
支払報酬料	902,000	597,900	304,100
諸会費	405,180	428,760	△ 23,580
減価償却費	17,899	20,989	△ 3,090
貸倒損失	285,960	285,120	840
雑費	18,026	63,092	△ 45,066
経常費用計	41,336,326	51,297,598	△ 9,961,272
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,387,909	△ 7,332,021	4,944,112
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,387,909	△ 7,332,021	4,944,112
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
リース資産除却損	397,074	0	397,074
経常外費用計	397,074	0	397,074
当期経常外増減額	△ 397,074	0	△ 397,074
当期一般正味財産増減額	△ 2,784,983	△ 7,332,021	4,547,038
一般正味財産期首残高	83,965,584	91,297,605	△ 7,332,021
一般正味財産期末残高	81,180,601	83,965,584	△ 2,784,983
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0
III 正味財産期末残高	86,180,601	88,965,584	△ 2,784,983

## 2021-2022年度役員候補者の件

会務	定数	改選数	非改選役員	新役員
会 長	1	0	田口 東 (中央大学)	
副会長	3	2	田辺隆人 ((株)NTTデータ数理システム)	田村明久 (慶應義塾大学) 山田昭雄 (日本電気(株))
庶務理事	2	1	原田耕平 ((株)NTTデータ数理システム)	鳥海重喜 (中央大学)
国際理事	1	1		鶴飼隆盛 (防衛大学校)
研究普及理事	2	1	永井秀稔 (日鉄ソリューションズ(株))	山下 真 (東京工業大学)
編集理事	2	1	土谷 隆 (政策研究大学院大学)	野々部宏司 (法政大学)
会計理事	1	0	諸星穂積 (政策研究大学院大学)	
渉外理事	1	0	西松 研 (NTTネットワーク基盤研究所)	
広報理事	1	0	森口聡子 (東京都立大学)	
支部理事	1	1		奥田隆史 (愛知県立大学)
大会理事	1	0	古川哲也 (九州大学)	田中 環 (新潟大学)
無任所理事	2	1	(欠員)	
監 事	2	1	細田順子 ((株)日立製作所)	松林伸生 (慶應義塾大学)